

パソコンいわくら教室新聞

デジタル遺品：万が一自分や家族の身に何かあったら、当然遺品が残ります。そのなかでも厄介なのが実態のないデジタルデータです。今から確認しておきましょう。

どんなものがある？

家族の身に何かあったら、一昔前なら、身の回りにある目に見えるもの、日記や証券、預金

通帳や写真など、そんなものを探せば事足りましたが、昨今ではそれらはデジタルで管理することが多くなりました。まず思い浮かぶのはスマホやパソコン。コレは実態がありますので、すぐわかりますが、パスワードが分からないと開くことができません。その中にはデジタルデータ「遺品」があります。

もっと厄介なのは、そこから操作した様々な契約、預金や電子マネー、株などの信託取引、アマゾンなどショッピングサイトやSNSのアカウント、クラウドに保存している写真や仕事上のデータなど、多岐にわたります。ウェブ上の契約などは「アカウントID」とパスワードが分からないと、見ることもできません。放っておくと様々支障が出てきます。では、どのように対処したら良いでしょう。

メモに残そう

スマートフォンやパソコンのログインパスワードなどは「メモ」に書き残し、普段は使わない鍵がかかる引き出しなどにしまっておきましょう。

パソコンに保存されている様々なファイルは、用途や種類がわかるように整理しておくことも大事です。写真や音楽は専用のソフトで管理されていることもありますが、パソコンさえ開けばなんとかなるものです。

ウェブサービスのアカウントIDやパスワードも漏れなくメモです。特に電子マネーや株などの投資などを行っている場合は、お金に直結する問題ですので、確実にメモに残します。

SNSの情報はどうでしょうか。最近では普段の通信手段としても使う人も増えてきました。

LINEは本人以外は使用できませんので、引き継ぐことはできません。なお、一年以上未使用であれば自動でデータは削除されます。（放っておいても大丈夫ですね。）ただ、残したい会話履歴などは

予め保存しておきましょう。

FacebookやInstagramはアカウントを削除するか、参照できるように残す「追悼アカウント」という設定もあります。Twitterはアカウントを削除する必要があります。

アンドロイドのスマホをお使いの場合、使用にはGoogleアカウントが必須になります。意識しなくともGoogleのサービスを使っている状態にあります。特に写真は撮影すると同時にGoogleフォトに保存されます。その他、Googleのサービス「カレンダー」「マップ」など様々なサービスがあります。これらのデータを引き継ぐのか、アカウント自体を削除してしまうのかも決める必要があります。（使用していない一定期間をすぎると自動で削除する設定もあります。）

アマゾンや楽天市場などのショッピングサイトも、不要になりますので、アカウントは削除です。（アカウントの内容を変更して継続も可）

その他の使用したことのある（アカウント登録したことのある）サイトもすべて整理しましょう。サブスクリプションの契約も忘れてはいけません。iCloudやGoogleストレージなど追加契約している場合や音楽サイトの定額サービスや、Wi-FiやエクセルなどのOfficeの契約などなど、確認しておくものはたくさんあります。（放っておくと請求が続きます）

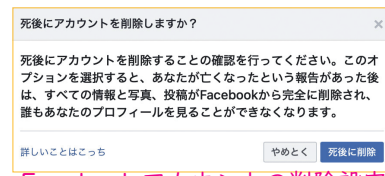
もしもの時に慌てないように、自分でもご家族でも普段から準備しておきましょう。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>



Google アカウントの削除設定



Facebook アカウントの削除設定